

2012年度 徳島大学大学開放実践センター公開講演会

講演者：大久保 邦子 氏（文化ボランティア・コーディネーター）

演題

ボランティアが拓く 地域の未来



概要 少子・高齢、IT時代を迎えて、地域はいま、都市も農村も、商店街も住宅街も先が見えない不安を抱えています。たしかにモノは豊富になったし、暮らしは便利になりました。けれども、安心・安定感はいまひとつ……。この混迷の時代に何が大切なのでしょうか。

東日本大震災で真っ先に活躍したのはボランティアだった。人と人を繋ぐ生身の活動です。人ひとりが心豊かになり、社会や地域を元気にするヒントを文化ボランティアの視点で考えます。

講演日時：2012年9月29日（土） 15：00－16：30

場所： 徳島大学大学開放実践センター第一講義室

講演者略歴：1939年台南市生まれ、鹿児島出身。女子美術大学卒。婦人画報社、講談社勤務後フリーランスライターに。自治会、PTAなど地域活動の傍ら、1978年（～98年）国立婦人教育会館（現：国立女性教育会館）情報図書ボランティアとして活動。1987年仲間とともに「社会教育施設ボランティア交流会」を開催。以後、交流会やセミナーの企画・開催、講演・講座、執筆活動などを通して社会教育施設ボランティアの推進・ネットワークづくりを。文部省生涯学習クリエイティブアドバイザー、文科省優良公民館表彰審査委員、文科省映画映像選定委員、埼玉県生涯学習審議会委員、文化庁ボランティア・モデル事業審査委員、東京都中央区文化事業助成制度審査委員、九州国立博物館「次の10年を考える懇話会」委員など多数歴任。

専門： まちづくり 生涯学習ボランティア 社会教育施設ボランティア 文化ボランティア

主な著書・論文：編著書『文化ボランティアガイド』（日本標準 2003年） 論文「ボランティア側から考える社会教育施設の意義 ～施設は“ともかく”受け入れを！～」（大判『社会教育』No. 783） 報告書『学び合う官と民』（2002年）『「組織」と個人はどう向き合うか』（2003年）『市民参画の仕組みづくり』（2005年 いずれもVnet社会教育施設ボランティア交流会編）